

## 今回のテーマ

### 医療保障を考えましょう



この4月よりサラリーマンの健康保険自己負担額が50%アップしました。

(2割負担 → 3割負担)

今回は、今一度医療費について考えてみたいと思います。

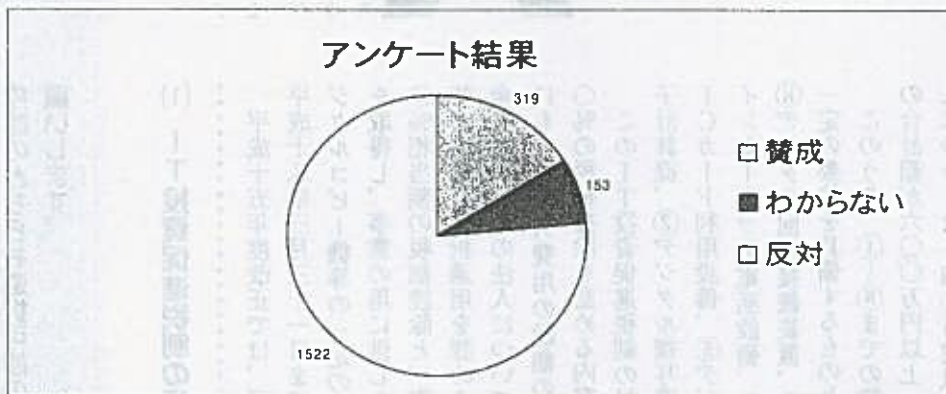
今後の生活設計に、ぜひご参考にしてください。

#### \* 健康保険3割負担アンケート結果

民主党が行ったアンケート結果の概要です。(http://www.kenpo3.jp)

〈アンケート〉 4月からサラリーマンの健康保険の自己負担が50%あがります。

あなたは、このことに賛成ですか、それとも反対ですか？



#### \* 問題の背景

(1) 社会を支える現役世代が減る！

高齢化社会が進むにつれて、高齢者の生活を支える現役世代が少なくなります。

2000年では現役「3.9人に1人」の割合で高齢者を支えていたのに対し  
2020年には、「2.2人に1人」の割合になることが予想されています。

(2) 増え続ける国民医療費

高齢化社会の到来により、老人医療費が増加傾向です。

これに伴い、国民全体の医療費もますます増加傾向です。

#### \* 自助努力の早期取り組みを考えましょう！

今後、予想される医療費負担増に対して、しっかりと準備をすすめておきましょう。  
資金準備を行うには、預貯金等の方法もありますが、目的に応じて生命保険の活用も視野に入れましょう。

最近では、一生を保障する終身タイプに人気があるようです。

法人経営者の方の場合、在任中に法人契約で加入されて、退任時に個人契約に名義変更し  
ご自身の老後準備とする方法などもあります。

今回は、健康保険制度改定を取り上げてみました。  
実際にご自身のケースに置き換えて考えてみるとよいでしょう。  
生命保険の有利不利や損得勘定をすることは、なかなか難しいものです。  
具体的なご相談に応じますので、お気軽にお声をかけてください。

